

9 会計の決算を認定

歳入 102億6257万円 歳出 95億6817万円
歳入歳出差引残額 6億6439万円

本会議3日目の9月8日、町長より令和3年度の一般会計及び8特別会計等の歳入歳出決算が一括上程され、代表監査委員の決算報告が行われました。一般会計の決算額は、歳入71億5270万円に対し、歳出66億2679万円で、差引額は5億2591万円となり、特別委員会に付託されました。一方、8特別会計等の決算総額は、歳入31億986万円に対し、歳出29億4137万円で、差引額は1億6848万円となりました。

9月12日には、議員11名と議長（オブザーバー）による一般会計決算審査特別委員会を開催し、町長・副町長・教育長、以下参事・課長職から係長職までの職員が出席して、詳細に審査を行いました。

ここでは、一般会計決算審査特別委員会等の主な審査概要をご紹介します。

令和4年 第3回定例会

会期 9月6日(火)~14日(水)

9/6 一般質問
寺嶋議員・齋藤議員 (P8)
井上議員・唐澤議員 (P9)
古谷議員・南雲議員 (P10)
田代議員 (P11)

9/7 一般質問
平野議員 (P11)
議案審議
議案8件(条例・補正予算)

9/8 議案審議等
認定9件(決算)
現地視察
委員会審査
総務文教常任委員会(契約)

9/9 委員会審査
産業厚生常任委員会(条例)

9/12 委員会審査
特別委員会(決算)

9/13 委員会審査
産業厚生常任委員会(条例)

9/14 議案審議等
委員会報告4件(決算・条例)
認定8件(決算)、報告ほか

一般会計決算の主な質疑

本会議 質疑

質 財政調整基金と特定目的基金が積み立てられ、大規模な事業を展開できるため、画期的な行政施策について、監査意見書で指摘されている。町長は、この大規模事業の展開について、どのように考えているのか。

答 (町長)
財政調整基金が12億円

歳入

になったので、画期的な施策を検討されたい、との監査委員からの意見だが、財政的に余裕があるとは思っていない。画期的な大規模事業は、町民の方々にお諮りして検討していく。

質 地方税の収入未済額が6053万円残っているが、その要因は、滞納者への収納対策について

伺う。

答 (税務課)

固定資産税を滞納している大部分の方は、土地等の不動産は持っているにもかかわらず現金収入がないのとこのことで収入化につなげることができない。

滞納整理は、催促状の送付、訪問、電話連絡など直接本人に納税のお願いをしている。うまくいかない場合は、預金や家屋等を調査して、差し押さえという形で滞納処分をして収納する。

質 ふるさと応援寄附金の申し込み件数はどのくらいか。また、収入額増のための方策はあるのか。

答 (定住少子化担当室)
令和3年度は5237件、1億2000万円ある。納付方法でマルチペイを導入したり、返礼品の充実を図り、ゴルフ場に新規でふるさと納税の返礼品の機械を入れたり努力している。

ゴルフ場に設置した自販機



政策

質 地域の魅力推進事業としてスプラボと旧寄中学校に約300万円の経費がかかっているが、内容をお願いしたい。

答 (定住少子化担当室)
スプラボでは各種スポーツ事業を実施した。パークのホッケー選手を呼んで事業をしたり、子供向けヨガや、ドローンを子どもから高齢者の方が体験した。旧寄中学校では体操事業やウォーキング事業を行った。

質 スプラボは、女性の創業者支援とそれを駅周辺の空き店舗に誘導するのが目的だったと思う。創業が1社だけしか確認取れない。初期の目的と乖離していると思うが。